

松伏町
まち・ひと・しごと創生総合戦略
(第3期)



1. 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）の位置付け

本町では2020年度（令和2年度）を始期とする「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」を策定し、人口減少問題の克服と地方創生に取り組んできました。

2022年（令和4年）12月23日に閣議決定された国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」をめざし、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題の解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしています。

本町においても「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」の成果や課題などを踏まえ、デジタル技術の活用などにより、人口減少問題の克服と地方創生をこれまで以上に推進することを目的とし、戦略的視点に立って進めるべき施策を示す「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）」を策定します。

なお、策定にあたり、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案するとともに、「松伏町第6次総合振興計画」の中に「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）」を位置付け、一体的に取り組むことで両計画の取組を効果的に推進していきます。

また、地方版総合戦略の策定にあたっては、自らの地域ビジョン（地域がめざすべき理想像）を新たに再構築することとしています。「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第3期）」においては、「松伏町第6次総合振興計画」と一体的に取り組むことから、総合振興計画の基本構想に掲げる将来像を地域ビジョンとして位置付け、両計画を通じて町内外の関係各機関及び町民の皆様との協働により、将来像の実現をめざします。

2. 総合戦略の基本目標と施策

次の4つの基本目標を掲げ、数値目標とそれを実現するための施策、KPI（重要業績評価指標）を設定します。

【基本目標1】生活の柱となる働く場の確保

【基本目標2】町や人がつながる魅力づくり

【基本目標3】安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

【基本目標4】生活利便性を高めるまちづくり

また、基本目標に対する施策を次のように定めます。

総合戦略における基本目標と施策体系

方向性	基本目標	施策
しごと	基本目標1 生活の柱となる働く場の確保	労働環境の向上支援
		企業の支援と誘致
		職住近接のまちづくり
ひと	基本目標2 町や人がつながる魅力づくり	転出抑制・転入しやすい環境づくり
		シティプロモーションの展開
		多文化・多世代交流の推進
子育て	基本目標3 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	町の特色を活かした教育環境の充実
		子育て世帯への支援
		こどもが安全・安心に暮らせる環境づくり
まち	基本目標4 生活利便性を高めるまちづくり	拠点の整備と活性化の推進
		交通基盤整備の推進

【数値目標】・・・基本目標の達成状況を測る指標

【施策】・・・基本目標を実現するために実施する取組

【KPI（重要業績評価指標）】・・・施策の進捗状況を測る指標

(1) 基本目標 1 生活の柱となる働く場の確保

就労者がそれぞれのライフスタイルに合わせた柔軟な働き方が選択できる職場環境の促進に取り組む企業や団体を支援し、労働環境の向上を推進します。

また、DX に取り組む企業や団体を支援するとともに、広域幹線道路沿いに新たな企業誘致などの土地利用を検討し、職住近接のまちづくりを進め、町内事業者の活性化や雇用の拡大、税収の増大を図ります。

【数値目標】

数値目標	現状値(2022 年度 (令和 4 年度))	目標値(2028 年度末 (令和10年度末))
法人町民税の申告事業者件数	791 社	880社
【説明】生活の柱となる働く場の確保を図り、町内の事業者数を示す法人町民税の申告事業者件数を増加させることを目標とする。		

【施策１】労働環境の向上支援

〈代表的な
SDGs〉

ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な働き方や、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方・暮らし方の変化に対応するため、ハローワークなどの関係機関と連携し、働く意欲のある方に対する就労支援に取り組みます。

また、企業におけるデジタル技術を活用した事業の拡大支援など、多様な人材が活躍できる労働環境の確保や、町内事業者の働き方改革などを支援し、労働環境の向上を図ります。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和 4 年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
1-1-2	ひとり親家庭の就労相談窓口開設 【説明】ひとり親家庭の生活の安定のため、ハローワークによる出張窓口開設を推進し、継続的に相談窓口を開設することを目指す。	未実施	5回／累計
4-3-1	DX推進事業のセミナー受講者数 【説明】DXに取り組む企業や団体への支援を図るため、DX推進事業のセミナーを開催し、受講者数を増加させることを目標とする。	190人	1,000人／累計
4-3-2	松伏町優良従業員表彰者数 【説明】町内事業所において、長期的な雇用を推進するため、松伏町優良従業員表彰者数を増加させることを目標とする。	24人	125人／累計
7-1-1	男性職員の育児休業等取得率 【説明】職場全体の意識改革を促し、男性職員の育児休業等の取得率を向上させることを目標とする。	0%	30%

【施策２】企業の支援と誘致

〈代表的な
SDGs〉



地域経済の発展のため、熱意ある商業者の町内での創業などを支援するとともに、企業におけるデジタル技術を活用した事業の拡大支援などに取り組みます。合わせて、就職説明会などの開催により地域の雇用機会を確保し、多様な人材が活躍できる環境を整備します。

また、町の認知度向上など戦略的なシティプロモーションを図り、地場産業の活性化につなげます。

さらに、総合振興計画に沿った計画的な土地利用により、効果的な企業誘致を推進し、埼玉県などと連携しながら、町内に進出を希望する企業の支援の充実を図ります。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
4-2-1	新規産業団地の事業着手数	0件	1件
	【説明】税収の確保と新たな雇用を創出するため、新規産業団地の法的な手続きを開始することを目標とする。		
4-2-2	ふるさと納税の返礼品数	91品	120品
	【説明】町の認知度の向上と地域への郷土愛と誇りの醸成を図るため、ふるさと納税の返礼品数を増加させることを目標とする。		
4-2-3	松伏町推奨特産品数	21品	23品
	【説明】町の認知度の向上と地域への郷土愛と誇りの醸成を図るため、松伏町推奨特産品数の認定件数を増加させることを目標とする。		
4-3-1	DX推進事業のセミナー受講者数 (再掲)	190人	1,000人／累計
	【説明】DXに取り組む企業や団体への支援を図るため、DX推進事業のセミナーを開催し、受講者数を増加させることを目標とする。		
4-3-1	創業指導を実施した件数	8件	45件／累計
	【説明】町内での創業を促進し、雇用を創出するため、継続的に創業指導を実施することを目標とする。		
4-3-1	松伏町合同就職説明会参加者数	未実施	200人／累計
	【説明】町内の雇用を創出するため、松伏町合同就職説明会を開催し、参加者数を増加させることを目標とする。		

【施策3】職住近接のまちづくり

〈代表的な
SDGs〉

広域幹線道路の（都）東埼玉道路と（都）浦和野田線が結節する松伏インターチェンジ周辺は、総合振興計画に沿った計画的な土地利用を推進します。

また、広域幹線道路沿いについては、新たに企業誘致などの土地利用を検討し、職住近接のまちづくりを進めます。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和 4 年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
4-2-1	新規産業団地の事業着手数(再掲)	0件	1件
	【説明】税収の確保と新たな雇用を創出するため、新規産業団地の法的な手続きを開始することを目標とする。		
4-3-1	創業指導を実施した件数(再掲)	8件	45件／累計
	【説明】町内での創業を促進し、雇用を創出するため、継続的に創業指導を実施することを目標とする。		
4-3-1	松伏町合同就職説明会参加者数(再掲)	未実施	200人／累計
	【説明】町内の雇用を創出するため、松伏町合同就職説明会を開催し、参加者数を増加させることを目標とする。		
5-1-1	市街化区域の人口密度	75.5人／ha	75.5人／ha
	【説明】利便性が高いコンパクトな市街地を形成し、市街化区域内の人口密度を維持することを目標とする。		
5-1-1	計画的な土地利用の推進に対する 町民満足度の割合	51.6%	60.0%
5-1-2			
5-1-3			
5-1-4			
【説明】町政等に関するアンケート調査における設問「計画的な土地利用の推進」に対し、「普通」以上と回答した割合を向上させることを目標とする。			

(2) 基本目標2 町や人がつながる魅力づくり

職住近接のまちづくりを推進し、若者の転出抑制と子育て世帯の転入促進を図ります。

また、戦略的にシティプロモーションを推進し、交流人口だけでなく、さまざまな形で町と関わる関係人口を増やします。

さらに、デジタル技術を活用しながら、世代を越えてスポーツ・芸術・文化活動などを行い、地域コミュニティの活性化や健康づくりを図るとともに、全ての人がまちづくりに参加できるよう、多文化との共生や相互理解を促進します。

【数値目標】

数値目標	現状値 (過去5年間(2018年度(平成30年度))から2022年度(令和4年度まで))の平均)	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
社会増減※数	-107人	±0人
【説明】若者の転出抑制と子育て世帯の転入促進を図り、社会増減数を改善させることを目標とする。		

※社会増減：転入者数から転出者数を引いた人数

【施策1】 転出抑制・ 転入しやすい環境づくり

〈代表的な
SDGs〉



若者の転出抑制と子育て世帯の転入促進のため、子育て世代に対する包括的な支援や企業誘致による職住近接のまちづくりなどを行います。

また、行政サービスの拠点である町の公共施設の機能拡充や、(都) 東埼玉道路の整備に伴い、町民の期待の高い公共交通の拠点として、事業採算性などを踏まえ、バスターミナルを併設した道の駅の設置を推進するなど拠点を整備することにより、町のにぎわいの創出や活性化を図ります。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
1-1-1	地域子育て相談機関相談件数 【説明】子育て世帯が気軽に相談できる身近な場として、地域子育て相談機関を新規に設置し、相談件数を増加させることを目標とする。	未実施	500件／累計
1-1-1	学童クラブ利用者率の向上 【説明】学習支援など保育内容の充実を図り、学童クラブの利用者率を向上させることを目標とする。	69.9%	71.0%
1-1-2	ひとり親家庭の就労相談窓口開設(再掲) 【説明】ひとり親家庭の生活の安定のため、ハローワークによる出張窓口開設を推進し、継続的に相談窓口を開設することを目標とする。	未実施	5回／累計
1-2-1 1-2-2	地域子育て支援センター利用者数 【説明】SNSなどの活用により、利用しやすい環境を構築し、地域子育て支援センターの利用者数を増加させることを目標とする。	7,145人	35,725人／累計
1-2-2	ファミリー・サポート・センターの会員登録者数 【説明】広域利用の周知を行い、ファミリー・サポート・センターの会員登録者数を増加させることを目標とする。	535人	595人
1-2-3	こども家庭センター相談件数 【説明】全ての妊産婦や子育て世帯、こどもたちに対し、一体的に相談支援を行うため、こども家庭センターを新規に設置して相談件数を増加させることを目標とする。	未実施	300件／累計
4-2-1	新規産業団地の事業着手数(再掲) 【説明】税収の確保と新たな雇用を創出するため、新規産業団地の法的な手続きを開始することを目標とする。	0件	1件
4-3-1	松伏町合同就職説明会参加者数(再掲) 【説明】町内の雇用を創出するため、松伏町合同就職説明会を開催し、参加者数を増加させることを目標とする。	未実施	200人／累計
4-3-2	松伏町優良従業員表彰者数(再掲) 【説明】町内事業所において、長期的な雇用を推進するため、松伏町優良従業員表彰者数を増加させることを目標とする。	24人	125人／累計
5-1-1 5-1-2 5-1-3 5-1-4	計画的な土地利用の推進に対する町民満足度の割合(再掲) 【説明】町政等に関するアンケート調査における設問「計画的な土地利用の推進」に対し、「普通」以上と回答した割合を向上させることを目標とする。	51.6%	60.0%

【施策2】シティプロモーションの展開

〈代表的な
SDGs〉



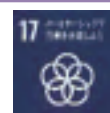
町の豊かな自然環境や特産品、農産物などの地域資源の活用や、SNSなどのデジタル技術の活用、新たな協働による手法などにより、地域への郷土愛と誇りの醸成や、町の認知度の向上を図ります。

また、戦略的にシティプロモーションを推進し、交流人口だけでなく、さまざまな形で町と関わる関係人口を増やします。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
3-3-1	マップメール登録者数	2,843人	3,500人
	【説明】多くの方に町の情報を発信できるようにするため、登録者数を増加させることを目標とする。		
4-2-2	ふるさと納税の返礼品数(再掲)	91品	120品
	【説明】町の認知度の向上と地域への郷土愛と誇りの醸成を図るため、ふるさと納税の返礼品数を増加させることを目標とする。		
4-2-3	松伏町推奨特産品数(再掲)	21品	23品
	【説明】町の認知度の向上と地域への郷土愛と誇りの醸成を図るため、松伏町推奨特産品数の認定件数を増加させることを目標とする。		
7-5-1 7-5-2	ふるさと納税の寄附件数	98件	1,000件／累計
	【説明】町の認知度向上や関係人口を増加させるため、ふるさと納税を活用し、継続的に寄附を受け付けることを目標とする。		
7-5-1 7-5-2	町公式SNSへの登録者数 (X:旧ツイッター)	2,156人	3,400人
	【説明】町の情報発信の推進を図り、公式SNS(X:旧ツイッター)の登録者数を増やすことを目標とする。		
7-5-1 7-5-2	町公式SNSへの登録者数 (インスタグラム)	1,120人	1,720人
	【説明】町の認知度の向上などを図り、公式SNS(インスタグラム)の登録者数を増やすことを目標とする。		
7-5-1 7-5-2	町への愛着度の割合	72.6%	80.0%
	【説明】町政等に関するアンケート調査における設問「住み慣れた場所であり、愛着がある」に対し、「そう思う」と回答した割合を向上させることを目標とする。		

【施策3】多文化・多世代交流の推進

〈代表的な
SDGs〉

誰もが自分らしく健康的でいきいきとした生活を送ることができるように、世代を越えてスポーツ・芸術・文化活動などの交流事業を実施し、地域コミュニティの活性化や健康づくりを支援します。

また、外国籍住民が増加していることから、地域の一員としてまちづくりに参加できるよう、多文化との共生や相互理解を促進します。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
2-1-1 2-1-2 2-1-3 2-1-4	65歳健康寿命の延伸 【説明】過去10年間(2012年(平成24年)から2021年(令和3年)まで)の実績値の伸び(年平均男性0.23年、女性0.17年)を踏まえ、健康寿命を男性1.38年、女性1.02年延伸させることを目標とする。	(男性)18.17年 (女性)20.83年 (2021年(令和3年))	19.55年 21.85年 (2027年(令和9年))
2-3-3	スマホ教室などのデジタル関連講座の開催回数 【説明】高齢者の認知症予防のために開催するスマホ教室などを継続的に開催することを目標とする。	4回	25回／累計
2-4-1	障がい者スポーツレクリエーション大会の参加者数 【説明】障がい者がスポーツや文化活動などに参加しやすくなるよう、障がい者スポーツ大会を開催し、参加者数を増加させることを目標とする。	67人	500人／累計
3-4-1	公募制補助金の申請件数 【説明】町の活性化を目的とする松伏町公募制補助金の申請件数を増加させることを目標とする。	3件	20件／累計
3-4-3	まつぶし日本語ひろば参加者数 【説明】多文化共生をめざし実施する「まつぶし日本語ひろば」の参加者数を増加させることを目標とする。	88人	500人／累計
3-5-1	スポーツ活動の実施事業回数 【説明】社会体育事業で実施されるスポーツ教室の実施事業回数を増加させることを目標とする。	39回	200回／累計
3-5-2	中央公民館・多世代交流学習館の講座やイベントなどの利用件数 【説明】芸術・文化活動の拠点となる中央公民館・多世代交流学習館における講座やイベントなどの利用件数を増加させることを目標とする。	4,485件	22,500件／累計
3-5-2	図書の貸出者数 【説明】中央公民館図書室・多世代交流学習館図書室における図書の貸出者数を増加させることを目標とする。	7,746人	40,000人／累計

総合振興計画 (中項目)	KPIの名称	現状値(2022年度 (令和 4 年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
5-5-1	町民1人当たりの都市公園面積	16.2㎡	17.0㎡
	【説明】公園の整備を進め、町民1人当たりの都市公園面積を増やすことを目標とする。		
5-5-1 5-5-3	公園で行われるイベント件数	45件	250件／累計
	【説明】公園の整備を進め、さまざまなイベントが行われる場を創出し、開催されるイベント数を増加させることを目標とする。		

(3) 基本目標3

安心してこどもを産み育てることができる環境づくり

デジタル技術の活用などにより、こどもたちの個性や地域の特性を活かした教育環境の充実を推進します。

また、地域ぐるみで子育て支援サービスや相談支援体制の充実を図るとともに、子育てを支える環境づくりを推進します。

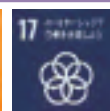
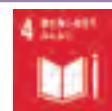
地域との連携により、交通安全対策や防犯対策を図り、こどもたちが安全・安心に暮らせる環境づくりに取り組みます。

【数値目標】

数値目標	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
年少人口(0～14才)	2,923人	2,893人
【説明】出生率の低下による人口減少・少子高齢化が進む中、安心してこどもを産み育てることができる環境を充実させ、0～14才の年少人口を維持していくことを目標とする。		

【施策1】町の特色を活かした 教育環境の充実

〈代表的な
SDGs〉



デジタル技術の活用などにより、こどもたち一人ひとりの個性を尊重し、生きる力をはぐくむ教育活動を継続するとともに、地域の特性を生かした教育環境の充実を推進します。

また、学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみでこどもたちをはぐくむ学校づくりに取り組みます。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和 4 年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
1-3-1	授業における情報通信機器の活用回数	200回	1,000回／累計
1-3-2	【説明】各学校の授業日において、タブレット端末などの情報通信機器を毎日活用することを目標とする。		
1-3-2	小規模特認校制度の活用児童数	15人	18人
	【説明】小規模特認校制度について、制度を活用する児童を増加させることを目標とする。		
1-3-1	全国学力・学習状況調査 「学校に行くのが楽しい」という割合の増加(小学校)	87.5%	90%
1-3-2	【説明】全国学力・学習状況調査における質問紙調査について、「学校に行くのが楽しい」と回答する児童の割合を向上させることを目標とする。		
1-3-3			
1-3-1	全国学力・学習状況調査 「学校に行くのが楽しい」という割合の増加(中学校)	81.8%	85%
1-3-2	【説明】全国学力・学習状況調査における質問紙調査について、「学校に行くのが楽しい」と回答する生徒の割合を向上させることを目標とする。		
1-3-3			

【施策2】子育て世帯への支援

〈代表的な
SDGs〉

地域で安心してこどもを産み育てることができるよう、子育て支援サービスや相談支援体制の充実を図るとともに、住民との協働による取り組みやこどもの居場所づくりなど、子育てを支える環境づくりを推進します。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
1-1-1	地域子育て相談機関相談件数(再掲)	未実施	500件／累計
	【説明】子育て世帯が気軽に相談できる身近な場として、地域子育て相談機関を新規に設置し、相談件数を増加させることを目標とする。		
1-1-1	学童クラブ利用者率の向上(再掲)	69.9%	71.0%
	【説明】学習支援など保育内容の充実を図り、学童クラブの利用者率を向上させることを目標とする。		
1-1-2	ひとり親家庭の就労相談窓口開設(再掲)	未実施	5回／累計
	【説明】ひとり親家庭の生活の安定のため、ハローワークによる出張窓口開設を推進し、継続的に相談窓口を開設することを目標とする。		
1-2-1 1-2-2	地域子育て支援センター利用者数(再掲)	7,145人	35,725人／累計
	【説明】SNSなどの活用により、利用しやすい環境を構築し、地域子育て支援センターの利用者数を増加させることを目標とする。		
1-2-2	ファミリー・サポート・センターの会員登録者数(再掲)	535人	595人
	【説明】広域利用の周知を行い、ファミリー・サポート・センターの会員登録者数を増加させることを目標とする。		
1-2-3	こども家庭センター相談件数(再掲)	未実施	300件／累計
	【説明】全ての妊産婦や子育て世帯、こどもたちに対し、一体的に相談支援を行うため、こども家庭センターを新規に設置して相談件数を増加させることを目標とする。		

【施策3】 こどもが安全・安心に暮らせる環境づくり

〈代表的な
SDGs〉



こどもたちの命を守り、安全・安心に暮らせる環境づくりのため、地域が一体となって交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に向け取り組みます。

また、コミュニティ意識の希薄化などにより、地域の防犯機能の低下が懸念されることから、防犯意識を高めるために関係機関と連携し、防犯・地域安全体制の強化を図ります。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
6-3-1	交通安全教室の参加者数	670人	3,500人／累計
	【説明】高齢者やこどもを対象に交通安全意識の向上のため実施する交通安全教室の参加者数を増加させることを目標とする。		
6-3-2	人口1,000人あたりの刑法犯認知件数	6.3件	5.7件
	【説明】町民の防犯意識の向上と、犯罪にあわないまちづくりのため、啓発や関係機関との連携強化などを図り、犯罪認知件数を減少させることを目標とする。		

(4) 基本目標4 生活利便性を高めるまちづくり

行政サービスの拠点である既存公共施設の機能拡充や新たな拠点を整備することで生活利便性を高め、町民の交流の場として町のにぎわいを創出します。

また、交通基盤整備を推進し、安全で安心して生活できる快適な移動環境や持続可能な地域公共交通の実現を図ります。

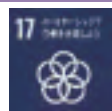
さらに、地域活性化のため、さまざまな分野でデジタル技術を活用し、地域課題の解決や住民サービスの向上を図ります。

【数値目標】

数値目標	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
町の事業やサービスを総合的に評価した場合の満足度の割合	71%	76%
【説明】生活利便性を高めるまちづくりを推進し、町政等に関するアンケート調査における設問「町の事業やサービスを総合的に評価した場合の満足度」に対し、「普通」以上と回答した割合を向上させることを目標とする。		
道路・公共交通機関の整備の満足度の割合	33.9%	38.9%
【説明】生活利便性を高めるまちづくりを推進し、町政等に関するアンケート調査における設問「道路・公共交通機関の整備の満足度」に対し、「普通」以上と回答した割合を向上させることを目標とする。		

【施策１】拠点の整備と活性化の推進

〈代表的な
SDGs〉



行政サービスの拠点となっている既存公共施設の機能拡充を図るとともに、（都）東埼玉道路の整備に伴い、町民の期待の高い公共交通の拠点として、事業採算性などを踏まえ、バスターミナルを併設した道の駅の設置を推進するなど新たな拠点を整備することで、生活利便性を高め、町民の交流の場として町のにぎわいを創出します。

また、拠点の整備にあたっては、環境に配慮した取り組みにより、未来につながる地域環境の実現を図るとともに、災害に強いまちづくりを推進します。

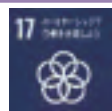
さらに、地域活性化のため、さまざまな分野でデジタル技術を活用し、地域課題の解決や住民サービスの向上を図ります。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和 4 年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
5-1-1	市街化区域の人口密度(再掲)	75.5人/ha	75.5人/ha
	【説明】利便性が高いコンパクトな市街地を形成し、市街化区域内の人口密度を維持することを目標とする。		
5-1-1 5-1-2	計画的な土地利用の推進に対する 町民満足度の割合(再掲)	51.6%	60.0%
5-1-3 5-1-4	【説明】町政等に関するアンケート調査における設問「計画的な土地利用の推進」に対し、「普通」以上と回答した割合を向上させることを目標とする。		
7-4-1	オンライン化した事務件数	37件	70件
	【説明】申請件数が多い事務手続きについて、優先的にオンライン化を進めていき、オンライン化した事務件数を増加させることを目標とする。		
7-4-1	職員のDXなどに関する研修実施 回数	2回	25回/累計
	【説明】自治体DXの意識醸成を図るとともに、デジタル技術を活用し、自治体DXを実践できる人材を育成するため、職員に対するDXなどの研修を継続的に実施することを目標とする。		
7-4-2	コンビニ交付による住民票の写し・ 印鑑登録証明書の交付率	14.4%	25.0%
	【説明】町民の利便性向上のため、住民票の写し及び印鑑登録証明書のコンビニ交付を推進し、コンビニ交付率を向上させることを目標とする。		

【施策2】交通基盤整備の推進

〈代表的な
SDGs〉



地域公共交通の維持や交通利便性の低い地域に住む方への支援、町民の期待の高い公共交通の拠点として、事業採算性などを踏まえ、バスターミナルを併設した道の駅の設置を推進するなど新たな拠点を整備することにより、町民が安全で安心して生活できる快適な移動環境や持続可能な地域公共交通の実現を図ります。

また、歩行者の安全確保に向けた歩道整備や道路照明のLED化など、人や環境にやさしい道路環境の整備を推進します。

【KPI（重要業績評価指標）】

総合振興計画 (中項目)	KPI の名称	現状値(2022年度 (令和4年度))	目標値(2028年度末 (令和10年度末))
5-2-2	生活道路の整備(拡幅側溝整備)	681m	2,200m
	【説明】町内の交通利便性の向上のため、道路の拡幅や側溝の整備を進め、整備済み延長を増加させることを目標とする。		
5-2-2 5-2-3	緑道・道路照明灯のLED化率	3.4%	100%
	【説明】緑道・道路利用者の安全確保のため、緑道と町道に設置している全ての照明灯をLEDに更新することを目標とする。		
5-2-2	歩道の整備	765m	1,800m
	【説明】歩行者が安全に通行できるよう歩道の整備を進め、整備済み延長を増加させることを目標とする。		
5-3-1	町内バス路線の路線数	17路線	17路線
	【説明】町民の生活手段として欠かせない町内バス路線を維持確保することを目標とする。		
5-3-1	デジタル技術を活用した交通利便性の向上に関する取組件数	未実施	1件
	【説明】デジタル技術を活用した交通利便性の向上に関する取組を実施することを目標とする。		

